

令和7年度 自己評価結果

学校法人 なんば学園 日本橋幼稚園

1. 教育目標

ひとり一人の個性を尊重し、「あかるく・すなおで・すこやかに」過ごせる毎日を大切にしています。

多様な活動を通して、子どもたちの丈夫な身体と豊かな表現力を育んでいきます。

①主体性・創造性の育ち

自ら興味や関心を持ち、意欲的に取り組む中で、考えたり工夫したりしながら表現する力を育てる。

②心の成長・社会性の育ち

集団生活の中で生まれる気持ちの揺れや葛藤を経験し、忍耐力や我慢する力、必要に応じて折り合いをつける力を身につける。

③判断力・生きる力の育ち

日々の生活の中で、良いこと・悪いことに自ら気づき、判断しようとする「生きる力」を育てる。

2. 今年度の重点的に取り組む目標と計画

本園の教育目標を重視する中で保育内容・環境を見つめ直し、より子どもの育ちに繋げるとともに、園生活での幼児一人一人の成長を保護者にわかりやすく伝える工夫をする

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目		取 組 み 状 況
------	--	-----------

保育のあり方 想像力を持った 保育実践	A	・子ども一人ひとりが今求めているものが何なのかを言動や表情から読み取り、関わる ・自分の思いを表現することが苦手な子や思いを自分からなかなか伝えられない子、本当の気持ちを隠したがる子もいる中で気持ちを丁寧に汲み取る ・保育者も子ども達と一緒に遊び、活動し、共体験、共感することを大切にし、認めて、誉めて、励ます を合言葉に一人一人の子どものよさを認め、意欲を持たせる ・日々の生活の中で、楽しい体験だけではなく、思い通りにならない事を乗り越える経験が出来るように、一人ひとりの育ちや友達との関係性をよく捉えた上で、その時々に応じた関わりをする
信頼関係を 構築する 保護者対応	A	・初めての園生活に不安を持っているのは子どもだけではなく、保護者も同じだという事を意識し、保護者によって知りたいことは様々なので、個々の思いに沿って伝えるように心掛ける ・保護者が考えていることを細やかに感じ取り、的確に対応することで、信頼関係を築く ・降園時の対話や園だより等で、保護者が知りたいと思っている園での子どもたちの様子を丁寧に伝える
保育者間の保育に 対する共通理解と 連携	B	・保育の中で子どもに必要な支援を連携して行うことが出来るように、保育計画と実践について保育者間で互いに共有し、共通理解を深める ・一緒のクラスに組んでいる先生とは、特に毎日子どもの様子を伝え合い、共通理解し、次の日の保育にいかす ・活動について、同学年の担任間でよく考え、良いものにしていくという思いを共有し、協力して、準備を進める意識を持ち、行う

4. 総合的な評価結果

B	一人一人の子どもを大切にした質の高い保育を実践できた また、更なる質の向上に向けた課題も明確になった
---	---

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

5. 今後、取り組むべき課題

- ・保育の中で子どもに必要な支援を連携して行うことが出来るように、保育計画と実践について保育者間で互いに共有し共通理解を深めることで、子どもの見方を高め合う
- ・保育者が、集団の中の個々の子どもの言動から内面を探り、子どもの心の育ちを的確に捉えた上で、保育に反映する
- ・子どもたちが好きな遊びを自分で選び、より豊かに遊び込み、遊びを展開出来るように、保育者が学びを深め、より良い遊びの環境を子ども達に提供する

6. 学校関係者の意見

いつも子どもたちのことを考え、工夫しながら保育をしている姿が伝わってきた
SNSを利用し、園の良さを広める取り組みも始まり、今後も発信を続けてほしい
子どもの自主的で豊かな創造性を養うことや、集団生活に適応できるように指導することなどに加えて、安心して預けることができる環境の提供が重要
また年度ごとに重点目標並びに計画を組み立て、先生方が一丸となって、園児たちに関わっているところは、様々な情報発信を通じて取り組み姿勢に共感できる

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められる